

R5年度 泉大津市『シーバスパーク』エリア一体指定管理業務 企画事業及び自主事業 成果・課題シート

| 事業項目 | 5ヶ年の目標 | 令和5年度目標 | 令和5年度成果・課題 |
|---|---|--|---|
| 統括管理業務 | | | |
| 統括マネジメント業務（管理運営方針） | | | |
| 事業体制の構築 （職員の研修計画） | 本業務を一元管理できるような業務実施体制の構築。 出来る限り地域の人材雇用及び育成。 持続可能な管理運営体制の構築。 様々なプロフェッショナルを有する本部との定期会議の開催。 本部からのフォローアップ、これまで培ってきたノウハウを活かした職員研修等による継続した人材の育成。 | <ul style="list-style-type: none"> ・JV運営委員会3回 ・定例会議（本部スタッフも参加）月1回 ・現場朝礼 ・地域人材の雇用 | <ul style="list-style-type: none"> ・JV運営委員会→2回目実施。 ・JV定例会議を月1回実施。 ・現場朝礼→毎朝実施。 ・地域人材の雇用→現場スタッフの約半数が現地在住者。 |
| 市との連携体制の構築 （四半期に1回） | 定期的な各事業の責任者等を集めた会議を開催するなど情報共有や業務調整の促進。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市との連絡会議4回 | <ul style="list-style-type: none"> ・市との連絡会議3回実施。（10月2日、12月15日、3月15日）。このほか7月、11月、1月、2月は現場担当者だけの会議を実施。 |
| 事業評価業務（事業評価計画） | | | |
| センサリーツアーによる モニタリングと事業の パイラルアップ（年2回） | 年間管理運営計画のPDCAサイクルの評価手法を取り入れ、事業計画、運営方針の効率化と品質向上。 | センサリーツアーの開催によるハード面、ソフト面のモニタリング（年2回） | <ul style="list-style-type: none"> ・センサリーツアーの開催によるハード面、ソフト面のモニタリングを実施。→1回目を10月26日実施。2回目を3月15日に実施。 |
| 来園者・売上・稼働率把握 | 来園者カウントの精度向上により、正確な人数把握やデータの活用、来園者のニーズ調査等の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・来園者数カウント（休館日を除く） ・稼働率、売上把握（休館日を除く） ・WEB来園者アンケートの実施（PDCA） | <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の位置情報を利用した来園者数カウントサービスを導入し、作業の効率化を図った。 ・毎月の施設・園地利用、稼働率、売上を集計し、利用ニーズ、課題抽出を行った ・来園者向けアンケート61件、利用者アンケート38件の回答を得た |
| 中間支援業務 | | | |
| 協議会 | | | |
| 公園関係者を集めた全体 協議会 | 次年度の事業計画の共有を行い、ルールや新しい事業に関する協議の場の形成。 新しい出会いによる新たな事業の創出、既存の枠組みでは出てこなかった解決策を構築するなど、行政、市民、事業者等の協働による公園管理運営。 | <ul style="list-style-type: none"> ・協議会開催（年度末1回） （令和5年度事業報告・令和6年度事業計画説明・協議） | 協議会の開催は実施できなかった。 |
| 市民活動部会 | | | |
| 会の組成マネジメント | 責任を持ち自立した団体として育成支援をおこなうため、市民活動支援に特化したコーディネータの配属による継続的マネジメント。 『シーバスパーク』エリアの運営や活性化に寄与する市民のアイデアや、ステークホルダーが集う会の組成。 | <ul style="list-style-type: none"> ・部会の立ち上げ ・部会開催（市、指定管理者、市民）月1回 ・組織の種類決定支援 ・シーバスパーク組織運営の体制構築支援 ・シーバスパーク組織の事務局運営支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・SPPC、指定管理者との連絡会議を月1回実施。課題抽出、ワークショップやミニイベント実施内容の検討、実施報告、成果と課題について協議、共有を行なった。 ・10月、1月のワークショップで部会、コアメンバー強化を目的としたミニイベント実施のためのアイデア出し、担い手を募る取り組みも行った。 |
| 市民活動を支える管理運営 ルール構築 | 市民自らが責任をもって公園に関わっていく対価としてのインセンティブ、減免等のルールづくり。 将来公園運営に関わるための自立と責任の育成。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ルールづくりWS 3回 ・市民活動による日常プログラム実施のルールと企画運営フローの構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・8月、10月、1月のワークショップを通して、シーバスパーク・クラブのコンセプト・ルールを決定。 |
| 日常プログラムの形成 | 持続的な公園の賑わい創出につながる日常プログラムの形成。 魅力的な公園利用を考えたり、チャレンジできる仕組みづくり。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常プログラム形成のための既存メンバーへのヒアリング ・既存メンバーによる実験的な日常プログラムの実施支援 ・市民広報ツール作成サポート | <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー的役割を担うメンバーの発掘、日常プログラム実施を目指すために、12月から1月1回のミニイベントを実施。 |
| リビングラボ部会 | | | |
| リビングラボ構築支援 | リビングラボの1拠点となるための、プログラム開発や実証実験等の実現に向けたサポート。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の担当所管から課題把握、事業立案のサポート ・必要に応じて情報共有会議への参加 ・企業ヒアリングへの参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・リビングラボ推進事業者による施設及び園地利用申請の対応、利用の受け入れを行った。 |
| エリアネットワーク部会 | | | |
| ネットワーク構築支援 | エリアガイドの作成。 エリアネットワーク会議体の開催。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の担当所管から課題把握、事業立案のサポート ・必要に応じて情報共有会議への参加 ・周辺関係者等との連携体制の構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・泉大津フェニックス多目的緑地及び多目的広場管理事業者と協働することを決定。 ・忠岡町長との意見交換を行なった。 |
| 利用促進業務 | | | |
| 利用促進業務（利用促進計画） | | | |
| モデル事業となるイベントの開催 | 季節イベントの安定的な開催。 来園者、利用者の声を反映することによる利用の促進。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主イベントの開催（春・秋） ・地縁団体、周辺事業者等のネットワーク構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・10月に自主イベントの開催 →火気使用ルール検討のための実験イベントを実施 →キッチンカー利用ルール拡充、コンテナ利用ニーズ把握を目的としたイベントを実施 →来園者の滞在時間延長を目的に、遊具類のレンタル品を拡充 ・地縁団体、周辺事業者等のネットワーク構築 →緑化ボランティア組成のための関係者ヒアリング実施 |
| ブランディングに繋がる 広報展開 | ホームページ、各種SNSへの掲載。 市民レポーターの育成、利用者目線による、シーバスパークエリアの魅力発信。 | <ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNS開設 ・ユニフォーム設定 ・ロゴ、キービジュアルの作成 ・公園パンフレットの制作 ・アナリティクスデータ収集 ・シーバスパーククラブとの広報連携 ・市報への情報掲載 ・デザインルールの構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・HPアクセス数：26,536回。 SNSフォロワー数：X 139/Instagram 1,208/Facebook 87。 ・公園パンフレットを7,000部作成。 ・市報1月号よりシーバスパークでのイベント情報などの掲載枠を設け毎月掲載を実施。 |

| 事業項目 | 5ヶ年の目標 | 令和5年度目標 | 令和5年度成果・課題 |
|---|---|---|---|
| 運営業務 | | | |
| 指定管理用地・施設の使用許可関係業務 | | | |
| 安心安全な利用の確保 | 安定的な来園者数の確保。 均一な質を維持できる管理マニュアルの精査更新。 | <ul style="list-style-type: none"> 園内巡回による点検（毎日） 早期発見・早期対応による修繕等の対応 日報や協議カードによる市との情報連絡 警察、行政、地域との協力体制の構築 危機管理、緊急時対応フロー 夜間警備（毎日） 高齢者障がい者などに対する人材育成 無料貸出用車椅子の設置 | <ul style="list-style-type: none"> 園内巡回による点検を毎日実施。 早期発見・早期対応による修繕の実施。 日報や協議カードによる市との情報連絡を実施。 警察、行政、地域との協力体制の構築し、警察の夜間巡回の協力依頼を実施。 危機管理、緊急時対応フローを作成運用と内容精査を実施。 夜間警備（毎日）を実施。 高齢者障がい者などに対する人材育成は未実施。 無料貸出用車椅子の設置しました（2台）。合わせてスロープ版の導入。 |
| 利用を促進する運営 | ホームページやパンフレットなどでの利用ルールの公開。 スタッフによる利用者サポートの取組活動の実施。 わかりやすい予約方法の構築。 | <ul style="list-style-type: none"> エントランスでのコミュニティサロンスペース設置 市民・事業者コーディネーターの常駐 用地使用申請者へのサポート 施設等利用状況のタイムリーな情報発信 | <ul style="list-style-type: none"> エントランスでのコミュニティサロンスペース設置。 受付、企画担当スタッフにて施設・園地の利用相談対応を実施。 受付スタッフによる使用申請の際のサポート実施 サイネージへ、HP、SNSを使ったタイムリーな情報発信の実施 |
| パークセンター内の運営 | 施設利用者の利用内容や利用頻度を検証。 利用者アンケートなどから課題解決による運営改善。 | <ul style="list-style-type: none"> 施設使用申請者へのサポート スペース開放日の実施、プロモーション 施設運営の課題抽出 利用に関する市民ニーズの把握 | <ul style="list-style-type: none"> 受付スタッフによる施設利用申請のサポート実施。 週次ミーティングなどで運営の課題出しと改善策の検討と実践。 利用相談や来園者からいただいた意見などを蓄積、利用改善の実施。 |
| コンテナハウス運営 | 安定した利用実績の確保。 スタートアップ事業者の利用サポート。 利用形態の多様性の検証。 | <ul style="list-style-type: none"> スタートアップのための公募条件の整理、公募開始 地域事業者、シーバスパーククラブ等の誘致 | <ul style="list-style-type: none"> コンテナハウスは3/1時点で3店舗が決定。3/30、31にプレオープンイベントを実施 コンテナ見学会を実施。20組の個人、団体等事業者に見学案内を実施 |
| 市民ガーデン運営 | プレイリーダー等による日常的な管理運営。 各シーズンによる活発な活用。 | <ul style="list-style-type: none"> 種まき、植付体験プログラムの実施 ガーデニングプランの検討 市民ガーデニング活動のニーズ把握 | <ul style="list-style-type: none"> 種まき、植付体験プログラムの実施→10月より体験イベントを実施。 市民主導による利活用のニーズを把握 |
| どろんこ広場運営 | 日常の遊び場として定着。 プレイリーダー等によるイベント活用。 利用者による緩やかなコミュニティ形成。 | <ul style="list-style-type: none"> 日常での安心安全な遊び場の提供 利用面での課題やニーズの把握 | <ul style="list-style-type: none"> 定期的にかれきやごみの除去実施。 シーバスパーク・クラブ小川氏（ファミリーサークル〇にじゅうまる〇）による子どもを対象にしたイベント実施を通して活用を行なった。 イベント利用を通して使いやすくするための課題を確認した。 |
| 維持管理業務 | | | |
| 指定管理用地の維持管理業務（管理施設、設備、器具備品等の維持管理方針） | | | |
| 公園を支えるベースとなるみどりの管理（植栽、芝生、どろんこ広場、市民ガーデン、せせらぎ、噴水広場） | 高質なガーデンを創り将来に渡って美しい状態を保つ管理マニュアルの作成及び更新。 継続的な来園者確保に向けた整備及び管理。 | <ul style="list-style-type: none"> 高中木管理（年1回程度） 低木管理（自然樹形を基本とし、随時対応） 地被植物管理（定期点検、定期灌水） 施肥・病虫害駆除（点検を踏まえ実施） 芝生管理（芝刈り、施肥を適切に実施） 草地等管理（年2~4回程度） 樹木点検と樹木診断 管理状況のデータ化、管理マニュアルの構築 植栽管理への市民参画意向の把握 | <ul style="list-style-type: none"> 高中木管理：1回実施。 低木管理：2回実施。 地被植物管理の夏場の灌水、除草：月2回の点検、適宜除草実施。7~9月は毎日灌水を実施。 施肥・病虫害駆除（点検を踏まえ実施）：蜂対策を準備済。 芝生管理（芝刈り、施肥を適切に実施）：夏場に適宜実施済。 草地等管理：6回実施。除草刈取を実施。 樹木点検と樹木診断→立ち枯れ確認、枯れ木について3月に植え替えを実施。 植栽管理への市民参画意向の把握→春日町自治会長へのヒアリングを実施。 |
| 快適な環境を維持する清掃及び維持管理（園内、パークセンター、トイレ、駐輪場） | 利用者がいつでも快適に利用して頂くため、管理マニュアル及びチェックリストによる均一な管理。 | <ul style="list-style-type: none"> 維持管理マニュアルと施設別チェックリストによる均一な質の管理 毎日清掃（パークセンター、トイレ） 定期清掃（パークセンター、園内） 管理状況のデータ化、管理マニュアルの構築 | <ul style="list-style-type: none"> 維持管理マニュアルと施設別チェックリストによる均一な質の管理の実施。 パークセンター、トイレの毎日清掃を実施。 パークセンター、園内の定期清掃を実施。 管理状況のデータ化、管理マニュアルの構築 →園内各所のチェックリスト作成、毎日の園内巡回時にチェックを実施。 |
| 指定管理用地内の施設の維持管理業務（管理施設、設備、器具備品等の維持管理方針） | | | |
| 公園を支えるベースとなる施設の管理（パークセンター、トイレ、倉庫、コンテナハウス、外構、警備） | マニュアルに基づいた施設別チェックリストによる均一な質の管理による来園者の満足度向上。 | <ul style="list-style-type: none"> 維持管理マニュアルと施設別チェックリストによる均一な質の管理 毎日点検（建築物、工作物） 法定点検（消防用設備点検、照明放送設備点検、防犯カメラ保守点検、井戸・せせらぎ設備保守点検（各年1回）） 臨時点検（建築物、工作物） 管理状況のデータ化、管理マニュアルの構築 | <ul style="list-style-type: none"> 維持管理マニュアルと施設別チェックリストによる均一な質の管理 毎日点検（建築物、工作物）：チェックリストを基に毎日巡回点検実施。 法定点検は消防用設備点検のみ実施。照明設備点、防犯カメラ、井戸・せせらぎについては現場スタッフによる点検のみ行なった。 井戸については11月中旬から水位が下がり、ポンプが稼働しなくなったため、運転休止し、経過観察を行なった。 |
| 自主事業 | | | |
| 駐車場運営（自主事業実施計画） | | | |
| 駐車場運営 | 利用者や環境への負荷を軽減できるオペレーションの構築。 大型イベント開催時の大型車両やキッチンカー出店等のスペース確保。 事前予約とオンライン決済の仕組みの整備。 | <ul style="list-style-type: none"> 車番チケットレスシステム駐車場営業開始 予約システムの導入開始 | <ul style="list-style-type: none"> 車番チケットレスシステム駐車場営業開始 大型バスの駐車場利用トライアルを実施 駐車場の一部ないし全面を占用したイベント利用 |
| その他自主事業（自主事業実施計画） | | | |
| 収益事業 | 安定した売上実績 | <ul style="list-style-type: none"> 物販事業（自動販売機等の設置） | <ul style="list-style-type: none"> 自販機設置済。遊具等の貸し出し事業実施。 |